

皮膚科 研究業績 (2017年)

学会発表

- 1
 - ① 中村 彩, 八尋 知里, 福田 尚美, 西岡 美南, 山本 哲久
 - ② 家族内発生したPanton-Valentine leukocidin陽性黄色ブドウ球菌感染症の1例
 - ③ 口演
 - ④ 第460回日本皮膚科学会大阪地方会
 - ⑤ 大阪
 - ⑥ 2017/2/4
 - ⑦ 家族内発生したPanton-Valentine leukocidin陽性黄色ブドウ球菌感染症の1例を報告した。Panton-Valentine leukocidin陽性黄色ブドウ球菌は市中ブドウ球菌に増加傾向である。

- 2
 - ① 鶴田 葵, 山本 哲久, 清水 義文
 - ② 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例
 - ③ 口演
 - ④ 第460回日本皮膚科学会大阪地方会
 - ⑤ 大阪
 - ⑥ 2017/2/4
 - ⑦ 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例を報告した。CD4、CD56陽性より診断、この症例ではCD31も陽性であった。化学療法に反応するが、すぐに再発、予後の悪い腫瘍である。

- 3
 - ① 八尋 知里, 中村 彩, 福田 尚美, 西岡 美南, 山本 哲久
 - ② 宝塚で発生した日本紅斑熱の1例
 - ③ 口演
 - ④ 第462回日本皮膚科学会大阪地方会
 - ⑤ 大阪
 - ⑥ 2017/5/13
 - ⑦ マダニ咬傷後に発症した宝塚で発生した日本紅斑熱の1例を報告した。日本紅斑熱の発生は北摂では初めてである。

- 4
 - ① 八尋 知里, 中村 彩, 西岡 美南, 福田 尚美, 山本 哲久
 - ② 難治性尋常性疣贅に対するOK-432療法の治療効果
 - ③ 口演、ポスター
 - ④ 第116回日本皮膚科学会総会
 - ⑤ 仙台
 - ⑥ 2017/6/3
 - ⑦ 難治性尋常性疣贅に対してOK-432皮下注を施行、約6割の有効例を認めた。

- 5
 - ① 西岡美南, 八尋 知里, 岩平 紘佳, 福田 尚美, 山本 哲久
 - ② 顔面肉芽腫の1例
 - ③ 口演
 - ④ 第68回日本皮膚科学会中部支部学術大会
 - ⑤ 京都
 - ⑥ 2017/10/8
 - ⑦ DDSが著効した顔面肉芽腫の一例を報告した。

- 6
 - ① 八尋 知里, 岩平 紘佳, 西岡 美南, 山本 哲久, 織田 好子, 福永 淳
 - ② 多種の野菜による食物依存性運動誘発アナフィラキシー(FDEIA)の一例
 - ③ 口演
 - ④ 第47回日本皮膚アレルギー学会総会
 - ⑤ 鹿児島
 - ⑥ 2017/12/10
 - ⑦ 花粉症の既往がある患者で、ニンジンをはじめとする多種の野菜による食物依存性運動誘発アナフィラキシー(FDEIA)の一例を報告した。

- 7
 - ① 岩平 紘佳, 八尋知里, 西岡 美南, 山本 哲久
 - ② JAK阻害薬使用中に多発した伝染性軟属腫の一例
 - ③ 口演
 - ④ 第465回日本皮膚科学会大阪地方会

- ⑤ 大阪
- ⑥ 2017/12/2
- ⑦ JAK阻害薬使用中に毛包周囲、深部に多発した伝染性軟属腫の一例を報告した。